

平成20年度行政評価（平成19年度実施事務事業評価）の概要

平成20年12月4日
行政経営課行政改革係

1 平成20年度行政評価（事務事業評価）について

評価の流れについては、別紙「平成20年度行政評価の流れ」を参照ください。

< 評価対象事業 >

平成19年度に実施した事務事業について、「棚卸」から「2次評価」までを実施しました。

事務事業棚卸	1, 354事業	事業担当係による事務事業棚卸。事業内容、事業費、職員従事割合等を精査（うち施策体系828事業）。
1次評価対象	532事業	行政経営課により1次評価対象事業を抽出。
1次評価実施（2次評価対象）	351事業	事業担当課にて1次評価対象から事業を選択し、評価。1次評価に基づき、行政経営課にてヒアリング。
庁内評価委員会評価対象	38事業	委員会（副市長、政策部長、総務部長、教育部長）により、C・D評価事業を中心に2次評価を実施。

< 評価内訳 >

評価時点ごとの評価ランク別事業数は下表のとおりとなりました。

（各事業の評価詳細については、別添「行政評価一覧」を参照ください。）

	1次評価 （事業担当課評価）	2次評価案 （行政経営課評価案）	2次評価結果 （最終評価結果）
S評価	8	5	5
A評価	241	212	155
B評価	69	96	151
C評価	22	19	22
D評価	11	19	18
計	351	351	351

< 評価ランク >

評価にあたっては下表の基準により、SからDの5段階ランク付けを行いました。

S（拡 充）	予算規模、サービス提供量の拡充が求められている。
A（継 続）	予算規模、実施方法等について、現状のままでよい。
B（内容見直し）	事務事業は継続するものの、その実施方法を 見直す必要 がある。
C（縮 小）	事務事業は継続するものの、予算規模、サービス提供量の 縮小が必要 。
D（廃 止）	事務事業の休止、 廃止が必要 。

2 評価結果の平成21年度予算への反映について

事業担当課において、評価結果に鑑み、事業内容を精査のうえ予算要求を行うこととします。特に2次評価結果をC、Dとした40事業については、予算削減、廃止を徹底します。

また、支所業務における支部事務局等の事業及び公民館事業等において、評価を行っていない事務事業についても、他の同一内容の事務局・事業と同等の評価とし、予算へ反映させます。

3 評価結果の公表について

行政評価一覧にある351事業について、「平成20年度篠山市行政評価（平成19年度実施事務事業評価）」として、市ホームページにて公表します（掲載期間3年）。